

平成23年度
なごや発ビジネスプラン
大学発ベンチャービジネスプラングランプリ
発表プラン集

開催日時：平成24年1月27日（金）13時30分～17時50分

会 場：名古屋市中企業振興会館 7階メインホール

主 催：財団法人 名古屋産業振興公社
名古屋市新事業支援センター

協賛企業：株式会社 三菱東京UFJ銀行 株式会社 名古屋銀行 株式会社 愛知銀行
株式会社 中京銀行 中日信用金庫 名古屋中小企業投資育成 株式会社

目 次

学生ビジネスアイデア

優秀賞

小島光博 名古屋大学大学院 【気象情報に基づく
発症予測システムの提案（医学気象予報）】 …… 2
発表時間13時35分～13時55分

奨励賞

西別府由梨 中京大学 【深度センサ付きカメラを利用した
仮想試着システムの提案】 …… 4
発表時間13時55分～14時15分

特別賞 4件 …… 6
発表はありません。

佳作 7件 …… 8
発表はありません。

努力賞 7件 …… 10
発表はありません。

大学発ベンチャービジネスプラン

奨励賞

株式会社量子情報 【音声対話システムによる呼び掛けタイプの
高齢者見守りサービス】 …… 12
発表時間14時25分～14時55分

奨励賞

株式会社まことラボ 【クラウド技術に基づく写真や動画の共有管理サービス】 …… 14
発表時間14時55分～15時25分

奨励賞

株式会社エーアイシステムサービス 【緊急地震速報配信サービス】 …… 16
発表時間15時35分～16時05分

奨励賞

株式会社プラズマ総合研究所 【アトム窒化TM処理の受託加工と処理装置の販売】 …… 18
発表時間16時05分～16時35分

グランプリ

ARCHES株式会社 【インターネット上の有害情報フィルタリングサービス】 …… 20
発表時間16時35分～17時05分

学生ビジネスアイデア

＜学生ビジネスアイデア＞

2 ビジネスプランの内容

- 2 -

イメージ図



- ・ 名古屋市消防局（救急搬送データ）
- ・ 気象庁&日本気象協会（気象情報）

医学気象予報センター

- ・ 医学気象予報情報の配信
- ・ 研究開発、予報作成、精度向上
- ・ 広報活動、営業活動

確実性
信頼度
精度向上

情報交換
有効性の検証

インターネット
メール配信、携帯電話
メディア（テレビ、新聞）

支援医師グループ

- ・ 健康アドバイス
- ・ 質問、相談

モニター
会員

病院、診療所、介護施設
官公庁、自治体、学校、個人、その他

将来の夢等

- ①東海地方、関東・関西地方での配信を目指す。
- ②二次的な利用が期待される健康住宅や空調管理による快適空間の実用化を目指す。
- ③産官学の連携した健康長寿事業の構築。

フリガナ	ニシベップ ユリ		
氏 名	西別府 由梨		
学 校 名・学 部 学 科 名	中京大学 情報理工学部情報メディア工学科	学 年	4 回 生
グループ メンバー名			
創業の予定	なし		
TEL	0565-46-1211	メールアドレス	ynishibeppu@om.sist.chukyo-u.ac.jp
指導教官名	宮崎慎也 教授		

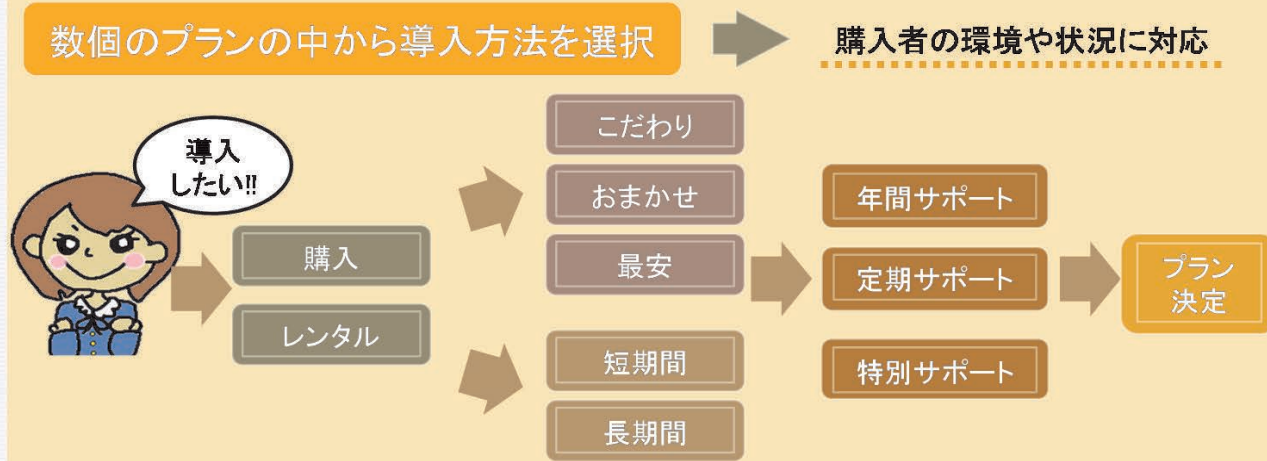
2 ビジネスプランの内容

プラン名	深度センサ付きカメラを利用した仮想試着システムの提案
事業概要	◆◇◆参入する市場・販売ターゲット◆◇◆ 洋服を購入する際、サイズや印象の確認のために試着が行われるが、脱着の際に傷んでしまうと商品として販売できなくなるため、買い取り方式や1点物のある専門店にはリスクが大きい。そのため、店舗側でフェイスカバーの着用を義務付けたり、一部商品の試着を禁止しているケースもあるが、これらは購入者に不便を強いるものであり、顧客減少へとつながる可能性もある。そこで、深度センサ付きカメラとパソコンを利用した低コストの仮想試着システムを提案する。販売ターゲットは、ブティックや個人デザイン店、リサイクルショップ等の専門店が想定される。 ◆◇◆製品・サービスについて◆◇◆ ◆システム概要◆深度センサ付きカメラ「Kinect」を用いた洋服の①3Dモデル作成と②仮想試着の2つの機能により構成される。①ではKinectで洋服を撮影することで3Dグラフィックを生成し、関節情報を付加することで3Dモデルを作成する。②ではKinectにより人の関節情報を検出し、洋服の関節情報とを対応付けることで、動きに合ったリアルタイムな仮想試着を可能とする。 ◆提供方法◆導入に関してはプラン制度を設ける。システムや機材の購入／レンタル、3Dディスプレイ機能の追加など多様なこだわりへの対応、サポートの有無など、複数のプランの中から選択する制度を採用する。アパレル業界は対面販売が多く、システムの導入をするか否かを決定する要因として利用客の反応がウェイトを占めるため、お試し期間を設ける。 ◆プロモーション◆「新奇性を利用した宣伝」と「長期的な利用のメリット」の2段構造とする。 ◆◇◆市場規模、市場の成長性、市場の特色◆◇◆ 現在のアパレル市場では、最も影響力の大きかった百貨店は売り上げが減少し衰退している一方、専門店は新規開拓が相次いでおり成長期であるといえる。大型メーカーやチェーン専門店は大量の在庫を保有しているが、本プランのターゲットであるブティックや個人デザイン店などの店舗では商品数に限りがある。商品損害を無くすだけであれば現行の体制でも可能であるが、顧客獲得との両立が実現できていない。
新製品・サービスの 新規性 独自性	・既存の類似システムは自身の映像に重ねる形での試着は可能だが、正面の映像にのみ対応であったり、服のデータを自身で用意する必要がある。対して本プランでは、洋服の3Dモデル生成から仮想試着までの全工程が1つのシステムで可能であり、低コストでの導入が可能である。 ・本プランはハンドメイドで制作したのも対象と出来るので、Kinectが一般家庭に広く普及した際に、それらをネットを介して自宅で試着可能にするなど、これまで試着が難しかったものも気軽に試せるようになるため、多くの人にとって購入の選択肢が広がることが期待できる。
進捗状況	システム製作中
提携先の 希望	① 販売 2 生産 3 投資 4 融資 5 技術 6 製品開発 7 その他()

システムの概要



プラン制度



プロモーション

新奇性を利用した宣伝

店舗の新規顧客の獲得



システムへの興味を
来店へ繋げる



ロコミから
雑誌掲載などへ繋がる

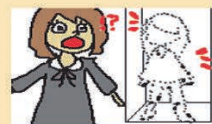
長期的な利用のメリット



在庫切れ商品の
試着が可能



試着室の
購入コスト削減



試着室内での
商品の盗難防止

将来の夢等

このシステムを応用して、洋服だけではなく様々なものを扱うAR雑貨屋さんを開業したいです。

特別賞 4件

所属大学	愛知学院大学 中部学院大学
氏名	横井 悠紗 ヨコイ ユサ 岩田 知之 イワタ トモユキ 東池 卓美 ヒガシイケ タクミ 大平 崇人 オオヒラ タカヒト
プラン名	【高齢者同士で作る素敵セカンドライフ“きづき橋プロジェクト”】
【内容】 既存の福祉は「やってあげる福祉」であり、高齢者の安心や安全は確保される一方、可能性を縮めてしまっている。そこで「やってあげる福祉」から「可能性のある福祉」へ転換を図ることを目的に本プランを作成した。本プランは3つの柱で構成されている。一つ目は、定期購読誌の発行。ユニバーサルデザイン化や、行政区域単位での提供など親しみやすさにこだわった。二つ目は、イベントの開催。幼少時代に戻ってもらい、自らが思い描いていた夢を実現してもらったり、活動の発表やマッチングの場なども設ける。三つ目は、マスターズデイ事業。これは、既に取り組んでいる事業であるが、敬老の日に名古屋市健康福祉局や民間企業と共に『高齢者が生きがいを持って積極的に社会に参加できる仕組み作り』を目指し、様々な啓発活動を行っていく。今年度は、ウォーキングイベントを開催した。 【新規性・独自性】 ・一番の強みは、双方向のサービスという点。既存の福祉は一方通行、すなわち「企業目線」が多く、浸透しきれていない。その点、本プランは、企業と高齢者を同じ目線で結び付けることを目的としており、市場の活性化を促し、双方にwin-winの関係を築かせることができる。 ・また、三つの事業を展開することで、スタッフや関わっている学生など、これから高齢期を迎える若者に、「人生で必ず訪れる老いとうどう向き合うか」というテーマを与えることができる。	

所属大学	大同大学大学院
氏名	若林 大地 ワカバヤシ ダイチ 河内 将成 コウチ カツナリ 垣野 雄輝 カキノ ユウキ 楠崎 寛之 クスザキ ヒロユキ 溝口 和洋 ミゾグチ カズヒロ
プラン名	【太陽光発電の効率向上システム】
【内容】 現在、化石燃料に代わるエネルギーとして安全かつ環境に優しい太陽光発電システムが注目されている。しかし、太陽光発電は太陽電池の表面温度が1℃上昇すると発電効率が0.5%程度低下してしまう問題がある。そこで、出力低下を抑制するために、太陽電池を、一定間隔で水冷することで、気化熱による冷却を少ない使用水量で効率よく行う方法を考案した。 【新規性・独自性】 ・太陽電池の表面に水をかけ、表面温度を下げることによって比較的容易に発電効率を向上させることができる。また同時に表面の汚れを落とすことにより、効率を向上させる。 ・間歇水冷システムは装置のメンテナンス（頻度として5年に1回程度）が必要になるが、シンプルかつ安価（100kW太陽電池に対して間歇水冷装置150万円程度）に効率向上（5～10%程度）をさせることができる。	

所属大学	愛知淑徳大学
氏名	ヒロナカ ミム 廣中 実夢
プラン名	【ミュージカル・ハウス】
【内容】 テレビ、映画、ミュージカルなどの舞台芸能人を目指して受験スクールや、習いごとは沢山あるが、実際にオーディションを受験して舞台に立った経験を持つ教師が教えている教室は少ない。また、規模の大きい教室であればあるほど、教師が全員とコミュニケーションをとれておらず、大多数の生徒が落ちこぼれてしまっている。当社は、宝塚歌劇団、東宝ミュージカルアカデミーのオーディションなどの経験、バレエ、声楽を学んで身に付けた者のみを教師として、スタジオでなく、家具などの小道具もそのまま使える一軒家をレッスン場に行っているのが特徴である。また、ミュージカルに興味を持っている大人を対象に気軽に舞台に立てるよう、必要な踊り・芝居・歌を楽しみながらレッスンを受けられる教室を提供する。 【新規性・独自性】 ①他の受験スクールにはない、現役の舞台人（劇団四季など）やメジャーオーディション受験経験者が教師であること。②他のスクールで落ちこぼれてしまった者のニーズを汲み、全員がコミュニケーションをとれる教室であること。③フローリングではなく、一軒家をレッスン場に、実際の家の中の家具を小道具として使い慣れるように身に付けるレッスンにする。④他の受験スクールでは行っていない《体の柔軟クラス》を設けること。⑤大人でも楽しくレッスンでき、気軽にミュージカルができるクラスを設けること等がある。	

所属大学	中京大学大学院
氏名	フカヤ アキヒロ 深谷 昭宏
プラン名	【ツイートマイニングを活用した「お出かけ」情報提供サービス】
【内容】 本サービスでは、定番スポットや穴場スポット、季節限定のイベントなどの様々な「お出かけ情報」を、SaaSにより提供する。提供情報は、GPS（位置）情報が付加されたツイートを、指定された期間・面積・信頼性の各範囲に基づきマイニング（集約）することにより生成する。主な販売ターゲットとして、地域密着の情報を発信しており、情報収集や取材時間、金銭面に制約を有するタウン情報誌の発行元が想定される。 【新規性・独自性】 ・つぶやきの持つリアルタイム性を活かした現在進行形の情報の提供はもちろん、ツイートを蓄積することで過去の情報の提供も可能となる。 ・少数の口コミも抽出されるため、通常であれば埋もれてしまうような情報も提供可能となり、差別化に繋がる ・長いスパンで情報が蓄積されることにより、将来的には、地域資料の作成など、古い情報を必要としている市場への情報提供も可能となる。	

佳作 7件

所属大学	愛知学院大学
氏名	トヤ シュンスケ ミヤガワ アキユキ 戸谷 駿介 宮川 彰之
プラン名	【農商工学 大連携】
三重県熊野市の特産物に指定されている「新姫みかん」と、愛知県名古屋市の伝統的なお菓子、「ういろう」とを組み合わせた三重と愛知のコラボレーション商品を企画、開発、販売する。農家(生産)、商業者(仕入、流通)、工業(和菓子職人、生産工場)、大学のすべてに利益を生み出すプランである。	

所属大学	中部大学
氏名	ドウケ ユウタ ツカモト マサハル キムラ ハヤタ マスダ アキヨシ スドコ ショウ 道家 佑太 塚本 将晴 木村 隼大 升田 明嘉 須床 奨 タカギ マサオ キムラ タツユキ クノ シンノスケ 高木 政夫 木村 起侑 久野 真之介
プラン名	【内容に関連した広告を自動表示するTwitterアプリケーション】
Twitterは、ユーザーが生活の中で、その場その場で感じたこと、行っていることを「つぶやく」という形でネット上に発信する。これは、そのユーザーの最も新鮮な情報を手にすることができるということである。このプランでは、Twitterを利用して、「つぶやき」に対応した広告やクーポン等をオンタイムで表示して、ユーザーに効果的にPRを行う。	

所属大学	愛知学院大学
氏名	サンサワ ユウキ ヤマガチ シュウイチ ナカシマ トモミ ハヤシ ユウサク ハラダ ユウキ 三澤 優樹 山口 修一 中島 知美 林 祐作 原田 侑樹
プラン名	【マインド・トラベラー】
参加した人全員が自分らしく生きる手段を発見してもらう事を理念とし、日本全国にいるユニークで独創的な生き方をしている方々に100%出会える旅をサポートします。旅先紹介に加え旅計画のサポートや緊急時連絡等参加者と旅先の橋渡しを行っております。自分を変える必要性を感じ、何か行動を起こしたいと考えているが、自己啓発セミナー等は、敷居が高いと考える人を主に対象としています。将来的にはインターンシップやセミナーに取って代わる自己分析の手段にしていきたいと考えております。	

所属大学	中京大学大学院
氏名	イワタ ヤスヒロ 岩田 康宏
プラン名	【自動車ARドレスアップシステム】
AR技術(拡張現実:現実存在するものに対して、コンピュータにより必要な情報を付け加えることを指す)を用いてエクステリアパーツの3Dモデルを買い手の車に合成することで、仮想的な試着を実現するシステム。車のパーツを取り扱う販売店等がターゲットとなる。パーツを設置した後の完成図が想像しやすくなる為、パーツの設置前／後の印象の食い違いがなくなり、クレームの減少やリピータの増加が期待できる。	

所属大学	愛知淑徳大学
氏名	カワセ アツシ 川瀬 敦司
プラン名	【メール管理代行サービス】
IT化の加速に伴い、企業の電子メール管理代行業者が増え続けているが、そのほとんどが、マスのなフォローのため、一定以上の人材力がある中堅企業レベルでないと利用できない状況である。そういった状況を打破すべく、今回のプランでは、家族的経営企業（10名程度まで）にターゲットを絞って、お客様に喜ばれるフォローメールやホームページの修正・更新サービスの提供で競争優位性を発揮していく。	

所属大学	日本福祉大学
氏名	マツナガ マアサ フクカワ ユウタ フジタ ナツキ 松永 真麻 福川 優太 藤田 夏輝
プラン名	【日本農業振興プロジェクト2 お花の地産地消（販売代行・購買代行的融合）モデル】
花の生産から流通・販売に至るまでの総合プロデュース会社を立ち上げる。事業内容は、①販売代行事業、②購買代行事業、③インターネット・流通事業、の3つからなる。生産から販売に至るまでの総合企画を行うことで、既存の仕組みでは実現できなかった「お花の地産地消モデル」を確立し、花の農家の収益向上を図る。また、一般家庭やオフィスに花を購入しやすい環境を作り、市場拡大を図る。そして、国内花き産業の自給自足を促すとともに、日本におけるお花を楽しむ文化を広めることを目指す。	

所属大学	名古屋市立大学大学院
氏名	ジョウ マナミ ナカジマ トクジ ヤマシタ リカ エグチ ナツミ ナカオ トモヨ フクナガ ユウキ 城 愛美 中島 徳士 山下 利佳 江口 奈津美 中尾 知世 福永 祐希
プラン名	【企業をサポートする医療機器開発サービス Medical Industry Support】
名古屋市立大学大学院芸術工学研究科・國本先端デザイン研究室と連携して、医療機器開発の総合的サポート事業を立ち上げる。医療機器開発への新規参入や新規開発を希望する企業等をターゲットとして、【第1段階】セミナー、【第2段階】ワークショップ、【第3段階】コンサルタント、【第4段階】機器開発支援、の4段階で、企業同士をつなぐプランニングから機器開発に至るまでトータルにサポートする。当研究室が得意とする医療分野や他分野にまたがるデザインノウハウ、当大学付属病院との開発連携、などの強みを活かす。	

努力賞 7件

所属大学	愛知淑徳大学
氏名	タナカ サユリ 田中 小百合
プラン名	【若者向けセミオーダーメイドアプリケーションサービス】

所属大学	愛知学院大学
氏名	イシカワ マミ オギタ カズヒロ スギウラ マイ ヤジマ サチコ 石川 舞美 荻田 一宏 杉浦 舞 矢島 祥子
プラン名	【コドモニテクト～Total Protect System～】

所属大学	中部大学
氏名	シカノ ジュンヤ ナカガワ ヨシヒロ 鹿野 潤哉 中川 喜裕
プラン名	【HVナビ】

所属大学	名古屋大学大学院
氏名	クボタ ユウイチ ハシモト コウジロウ イシイ コウキ オガワ ムネアキ スギムラ ノリツグ ナカワキ コウスケ 窪田 雄一 橋本 幸二郎 石井 公貴 小川 宗晃 杉村 紀次 中脇 康介
プラン名	【予定たてお～ソーシャルスケジューリングカレンダー～】

所属大学	総合研究大学院大学
氏名	トヨタ ケンジ 豊田 賢治
プラン名	【環境モニタリング標本】

所属大学	名古屋市立大学
氏名	フカヤ ショウタ イワキ シンゴ ババ ミユキ 深谷 彰太 岩木 真吾 馬場 美幸
プラン名	【Q-connect】

所属大学	中部大学
氏名	ケンモツ タツヤ 監物 達哉
プラン名	【過疎地に住む買い物弱者への出張販売】

大学発ベンチャービジネスプラン

1. 企業概要

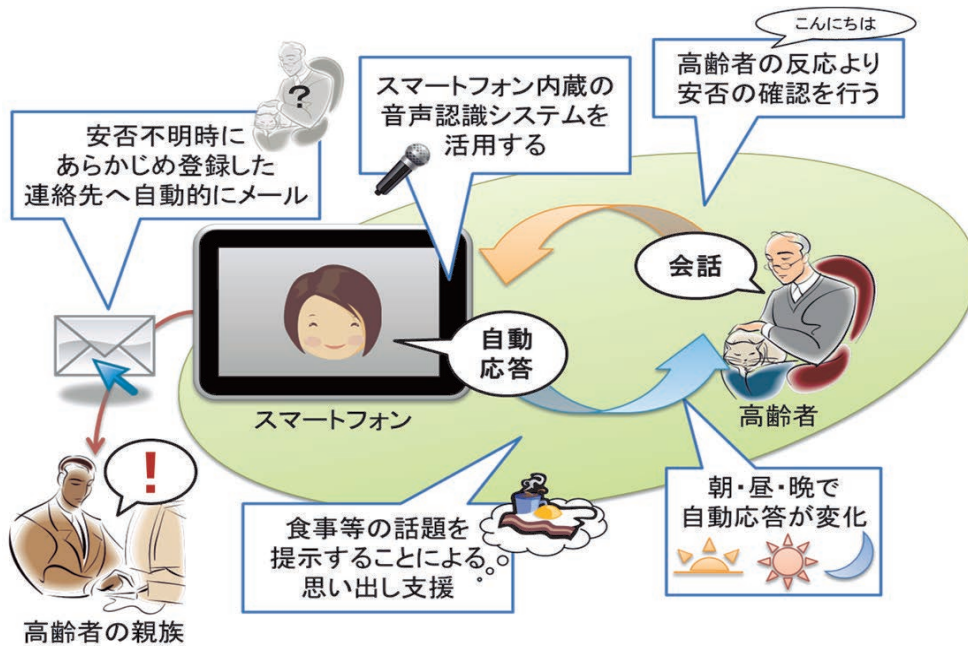
＜大学発ベンチャービジネスプラン＞

企業名等	企業名	株式会社量子情報		設立	平成23	年	7	月
	資本金	100	万円	常勤役員・従業員数	5	人		
関係大学		岐阜経済大学			関係教授名	佐々木喜一郎		
大学との関わり		岐阜経済大学・ソフトピア共同研究室で培った技術や研究成果をもとに起業をした岐阜経済大学初の大学発ベンチャー企業である						
代表者名	村井 識顕							
住 所	(〒 503-0807) 岐阜県大垣市今宿6丁目52-16 ソフトピアジャパンドリームコア2F 211号室							
TEL	0584-47-8211			メールアドレス	noriaki@qict.co.jp			
FAX	0584-47-8212			URL	http://www.qict.co.jp			
企業の沿革	平成23年7月 株式会社量子情報 設立 10月 Androidアプリ「福を呼ぶ方位地図占い」リリース							
事業者のプロフィール	平成23年3月に岐阜経済大学卒業後、ソフトピア共同研究室顧問佐々木喜一郎先生、同大学OBと共に株式会社量子情報を設立する。							

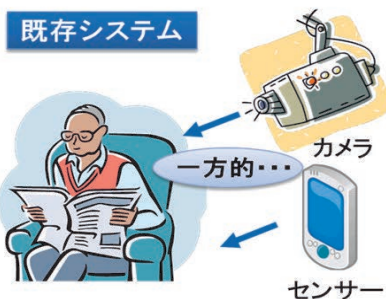
2 ビジネスプランの内容

プラン名	音声対話システムによる呼び掛けタイプの高齢者見守りサービス							
事業概要	現在、核家族が標準世帯となったため、一人暮らしの高齢者が増加している。平成23年版高齢化社会白書によると、65歳以上の高齢者人口は過去最高の2958万人となり、平成27年には3000万人を超えると言われている。 このような状況にともない、全国各地に長寿高齢者の所在不明問題が拡がり、地域コミュニティが衰退し、一人暮らしの高齢者の孤立が問題となっている。ゆえに、一人暮らしの高齢者の自宅内での事故防止や精神的なケアのサービスが求められている。 本システムは、音声認識による音声対話が可能なスマートフォンアプリケーションのAvatarから利用者へ日常的に呼びかけ、精神的なケアを見据えたコミュニケーションや反応の有無や音声対話の内容から事故の早期発見に努める。 音声認識による対話機能は、挨拶・食事・天気に関する話題による思いだし支援を盛り込む。これは、今日の日付や曜日、今日食べた朝食などを思い出してもらうことにより、脳トレとして毎日の思い出トレーニングにもなる。 緊急時の通知機能は、音声による呼びかけに対し、指定した回数反応がない場合や返答内容に危機的な会話内容の場合は、自宅内での事故が考えられる為、登録された連絡先に自動的に電子メール等による通知を行う。							
新製品・サービスの新規性・独自性	提供する音声認識機能は、スマートフォンに内蔵されている音声認識システムを活用するだけでなく、会話の聞き取りに特化した音声認識システムをクラウド環境で利用が可能である。また、岐阜経済大学、同志社大学、竹田設計工業株式会社との産官学コンソーシアムで開発中の高齢者向け対話データベースにより、高齢者とナチュラルな会話が可能である。 従来のカメラやセンサーを利用した安否確認と異なり、コンピュータによる音声対話機能による対話状況による安否確認の為、プライバシーに配慮したシステムである。また、従来のオペレーターによる安否確認サービスより安価に導入が可能である。他、従来の見守りシステムでは監視をするなどアプローチが一方的である。しかし、このシステムでは音声対話により、双方向のコミュニケーションが得られる点がある。							
希望提携先	(マッチングを希望される提携先に○をつけてください。)							
	1 販売	2 生産	③ 投資	④ 融資	5 技術	6 製品開発		
	7 その他(	)						

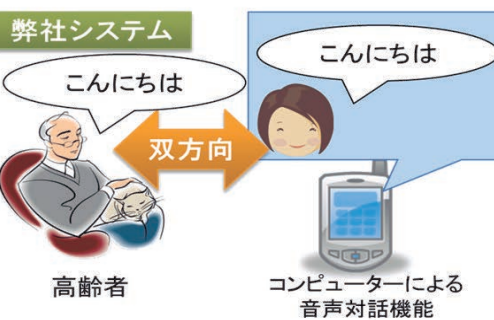
イメージ図



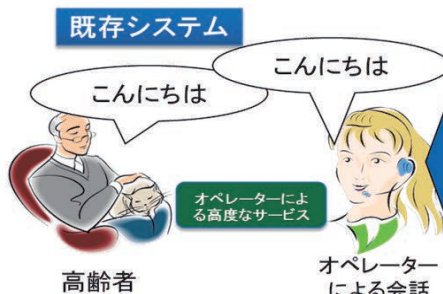
既存システム



弊社システム



既存システム



弊社システム



販売計画

スマートフォンアプリ完結型
・単価500円
・3年12万人の利用者獲得

クラウド利用型
・月額500円・年額6000円
・3年1万件の利用者獲得

高齢者向けのタブレットを販売している企業と連携予定。

3 新事業の販売目標

	初年度	2年目	3年目
売上高 計	1,000,000円	40,000,000	100,000,000

1. 企業概要

＜大学発ベンチャービジネスプラン＞

企業名等	企業名	株式会社 まことラボ		設立	2009	年	4	月
	資本金	10	万円	常勤役員・従業員数	1名			
関係大学		名古屋工業大学大学院産業戦略工学専攻			関係教授名	伊藤 孝行		
大学との関わり								
代表者名	伊藤 孝行							
住 所	(〒466 - 8555) 名古屋市昭和区御器所町名古屋工業大学 19号館 211室							
TEL	052-735-7968			メールアドレス	ito.takayuki@nitech.ac.jp			
FAX	052-735-7407			URL	http://www.itolab.nitech.ac.jp/itol2/page.jp/			
企業の沿革	弊社は名古屋工業大学大学院産業戦略専攻/情報工学科の伊藤研究室の研究教育成果を、ソフトウェアの研究開発を通して社会に還元するために2009年に設立した。 「まこと」と言う名前は、「真」をあらわしている。							
事業者の プロフィール	平成12(2000)年3月 同大学院工学研究科電気情報工学専攻博士後期課程修了 博士(工学). 平成18(2006)年4月～ 名古屋工業大学大学院工学研究科 産業戦略工学専攻 准教授. 平成20(2008)年9月～平成22(2010)年3月まで 米国マサチューセッツ工科大学 Center for Collective Intelligence, Sloan School of Management, Thomas Malone教授, Mark Klein博士研究グ ループ にて客員研究員							

2 ビジネスプランの内容

プ ラ ン 名	クラウド技術に基づく写真や動画の共有管理サービス							
事業概要	①サービスの目的 本事業では、写真やビデオテープなどデジタル化(断片化)し、クラウド技術を用いた長期保管管理サービスを行う。本事業のターゲットユーザーのひとつは、団塊の世代である。団塊の世代は、写真、VHS、ハミリなどを大量に整理できずに持っている。これは、団塊の世代の家族イベントの多く(例えば、自らの結婚式、出産、子育て、など)は、デジタルカメラが広く普及した2005年前後より前に行われているからである。これらの記録は、持っているとはいえ、乱雑に分散している状態である。例えば、写真はすべてまとめて箱にいれてあったり、ハミリのテープは再生する機械さえない場合もある。本サービスは、これらの記録をすべてデジタル化・断片化し、インターネットで共有することができるようにクラウド技術を用いて管理する。利用者は、いつでもどこでもだれとでも過去の記録を瞬時に探し出し閲覧することができる。そして、すべての記録は、ほぼ永久的に保管管理される。 ②サービスなどの概要 本サービスの競争力となる特長は以下の点にある。 ・クラウド技術を活用することによる、大規模データの永続管理。 本事業では、Amazon EC2/S3を効果的に利用することで、大規模な動画データを効率よく管理できる仕組みを構築済みである。 ・利用者の好みに応じたデジタルデータの整理共有ツールの提供。 本事業では、インターネット上で、写真や動画のさまざまな管理方法を提供する。例えば、キーワード検索機能、フォルダ分類機能、類似写真検索機能など。 ・動画を使った電子ブックのアルバムへの応用。 既存にはない電子ブックのアルバムへの応用を行う。動く卒業アルバムなどが実現可能。							
新製品・サービスの新規性・独自性	本事業の特長は、デジタルデータとして断片化したデータをインターネットで共有できるようにクラウド上で永続的に管理保管する点にある。2005年以前では記録が全てアナログ(紙、写真など)である。次に、デジタル化されたデータは、極めて規模が大きいものになるため、単純なデータセンターの応用では、長期的な管理は不可能である。分散化技術を用いて大規模データの保存・管理を実現する。さらに、独自の画像解析技術を用いて、ユーザーが画像や動画を検索しやすくするツールを提供し、デジタルデータの整理を簡単にする。							
希望提携先	① 販売 2 生産 ③ 投資 4 融資 5 技術 6 製品開発 7 その他()							

イメージ図



本ビジネスは、次の4つのサービスで構成されている

1. 写真・フィルム・VTR・レコード(LP)・テープ・本(アルバムetc)のデジタル化(断片化)
2. デジタルデータ(デジタル画像・ムービー)を断片化
3. クラウドコンピューティングによるデータの管理(ユーザーはストレージとして利用)
4. ユーザーによる 電子ブック化機能(ユーザーが電子ブックを作成できる)

市場規模

本サービスが重要なターゲット層として考えている『団塊の世代』という熟年層ユーザー(1951年までに生まれた人)は、総務省統計局(2006年)にデータによれば、10,825千人であり、日本の総人口の8%を占めるに至っている。『団塊の世代』の10%が本サービスを新しいデータ管理方法として利用すれば、一般の世代層への利用が促進すると考えている。『団塊の世代』はリテラシーも高く、インターネットを有効に活用している人たちも多いので、本サービスを価値として認めてくれる可能性も高い。

第二の矢(将来の新サービス)

スマートフォン(Android 端末)で考えると、やはりユーザー層として期待できるのは若年層である。このような問題を解決するために『2つの無料』をサービスとして展開していく。無料化による話題性が広がることで、新しい利用方法も創出されられると思われるが、それ以上にニュース性が高まることで、本サービスの普及に効果が得られると考えている。バイラル(口コミ)やTwitter・Facebookなどで噂が広がり、需要が増加してくれると思われる。



販売計画

3 新事業の販売目標

	初年度	2年目	3年目
売上高 計		5,000	21,000

1. 企業概要

＜大学発ベンチャービジネスプラン＞

企業名等	企業名	(株)エーアイシステムサービス		設立	平成 20	年	4	月
	資本金	700	万円	常勤役員・従業員数	4名			
関係大学		愛知工業大学			関係教授名	正木和明		
大学との関わり		H16年度文科省補助金（産学連携）に採択、地域防災研究センター設立。緊急地震速報配信システムを開発し、30事業所に配信開始。H20年大学ベンチャー第1号として(株)エーアイシステムサービスを設立、配信事業を引き継ぐ。						
代表者名	正木和明							
住所	(〒470-0392)愛知県豊田市八草町八千草1247							
TEL	0565-48-8818			メールアドレス	aisystem@aitech.ac.jp			
FAX	0565-48-8818			URL	http://ai-ss.jp			
企業の沿革	平成16年文科省補助金採択、地域防災研究センター設立 平成17年気象庁緊急地震速報試験的配信開始 平成19年緊急地震事業者として認証される 平成20年4月大学ベンチャー1号として発足。センター配信事業を受け継ぐ。 ○株主は大学関係者とプロジェクト連携企業が中心 平成23年現在、当初の30事業所から70事業所に配信先拡大							
事業者のプロフィール	愛知工業大学工学部教授。地域防災研究センター長。平成16年度産学連携によるプロジェクト「気象庁緊急地震速報の活用に関する研究」開始。地元企業防災担当者と連携し「地震に強い地域づくりの会（あいぼう会）」設立・会長。平成20年大学ベンチャー第1号を設立。愛知県、名古屋市等地震被害予測委員会委員。「製造業のための地震対策事例集」編纂（名古屋商工会議所刊）							

2 ビジネスプランの内容

プラン名		緊急地震速報配信サービス						
事業概要		①地域防災研究センター設立:文科省補助金(産学連携)に採択され、センターを設立。地震危険度が最も高い三河地域に最も重要な産業が集積している事の危険性を指摘し、地震対策に緊急地震速報を用いるプロジェクトを立ちあげる。 ②技術開発と配信実績の蓄積:5年間の補助金により、配信システムの構築、配信の実証実験(一部気象庁との共同実験)、配信事業の実用化に成功する。この間、愛知工業大学に大学としては初めて緊急地震速報を導入し、防災訓練を実施、活用ノウハウの蓄積に努める。 ③ベンチャーの立ち上げ:補助金終了後、研究成果を社会還元する目的でベンチャーを立ち上げ、事業化をはかる。立ち上げ時30事業所から、現在、27社70事業所に配信先拡大。東日本大震災が発生。緊急地震速報の有効性認知が急激に進む。 ④社会貢献型企業:大学発のベンチャーであり、防災情報の配信事業であることから、社会的貢献が問われている事は強く認識しており、設立趣意書にも「企業の防災力向上を実現し、ひいては、地域の防災力強化に寄与する」とある通り、社会に貢献できる会社として展開を図る。						
新製品・サービスの新規性・独自性		①顧客のニーズに合わせた製品開発:緊急放送、製造ライン停止、ガス遮断、震動型腕時計(シルウォッチ)、フラッシュライト(パトライト)、エレベータ停止、簡易端末表示(音声と文字:パトライト)、PCモニターポップアップ表示、等の高度活用実績あり。 ②多機能活用:緊急地震速報を用いた自社独自の避難訓練可能。震源・マグニチュード入力によるシミュレーション機能装備(社員教育へ活用)等、ユーザーニーズに対応。 ③信頼性:気象庁試験配信開始の2005年度から継続的に安定稼働。サーバーは大学免震建屋に設置。システムの2重化、通信状況の常時監視、顧客サーバーの遠隔監視、大学研究者との共同研究等、信頼性の高いシステムを構築。 ④高精度予測:大学教員が地盤判定、ジャストポイント震度予測、地震計による実測震度観測、配信先ネットワークによる企業間情報交換、高精度予測・高度利用が可能。 ⑤コンサルタント支援:サイレン音・放送文、防災マニュアルや避難訓練シナリオ作成、3.11地震等大地震の専門的情報配信。大学の先生との連携によるコンサルタントを行う。 ⑥大学との研究開発:愛知工業大学との共同研究を通じて、緊急地震速報の精度向上、課題の解決に取り組んでいる。						
希望提携先		(マッチングを希望される提携先に○をつけてください。) ① 販売 ② 生産 ③ 投資 ④ 融資 ⑤ 技術 ⑥ 製品開発 ⑦ その他(配信先事業所の紹介、料金徴収、携帯サイト広告料金のノウハウを持つ会社)						



販売計画	①配信実績:【企業】愛三工業、アスモ、スギムラ化学工業、ソミック石川、太平洋工業、中部鋼鈑、東海理化、ニッパ、東洋化学、フジトランス、プロスチール、メイドー、JTEKT 【大学等】愛知工業大学、名古屋工業大学、京都大学、トヨタ自動車大学校 【医療】半田医師会。 合計70事業所 (H23年10月現在) ②今後の計画:東日本大震災が発生。緊急地震速報の有効性認知が急激に進んでいる。今後も製造業を中心に配信事業を行うが、その他の企業、自治体関係、教育関係(特に大学)、医療関係、福祉関係への展開を計画。既に、企業の他に、3大学に配信する等、事業の拡大が図られている。 ③競合する配信業者との差別化:豊富な経験と大学研究者との連携による高い信頼性と高い技術力、地域企業防災のための町医者として地域貢献型企業を目指す。
------	--

3 新事業の販売目標

	初年度	2年目	3年目
売上高 計	3800万円	4200万円	5600万円

1. 企業概要

<大学発ベンチャービジネスプラン>

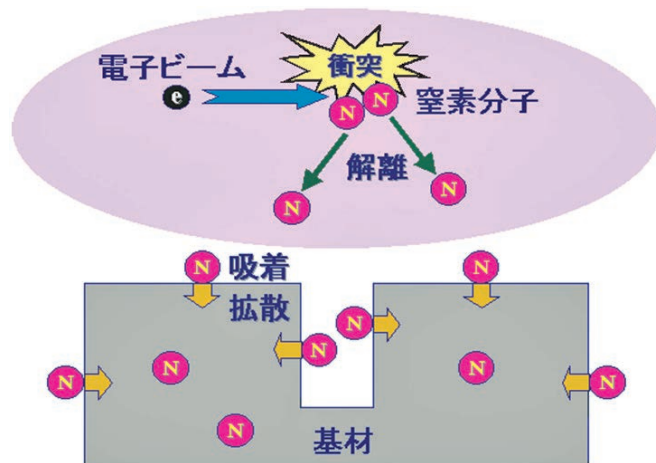
企業名等	企業名	(株)プラズマ総合研究所		設立	2011	年	10	月
	資本金	1,000	万円	常勤役員・従業員数	5人			
関係大学		豊田工業大学			関係教授名	原 民夫		
大学との関わり		豊田工業大学において得られた研究成果の実用化を図るために設立されたベンチャー企業である。						
代表者名	松原 秀之							
住 所	(〒468－ 0014) 愛知県名古屋市天白区中平1丁目1002番地メゾン平中503号室							
TEL	052-809-1835			メールアドレス	hara@toyota-ti.ac.jp			
FAX	052-809-1838			URL				
企業の沿革	2011年10月 株式会社プラズマ総合研究所設立							
事業者のプロフィール	名古屋工業大学卒業後、トヨタ自動車(株)電子生技部部長、(株)東海理化電機常務取締役、理化精機社長を歴任。現在(株)ミットヨ取締役(社外)と(株)プラズマ総合研究所代表取締役社長を兼任。							

2 ビジネスプランの内容

プラン名	アトム窒化™処理の受託加工と処理装置の販売									
事業概要	我国の基幹産業である自動車・航空機分野などにおいて、喫緊の課題である地球温暖化抑制や省エネルギー対応のため、次世代を担うハイブリッド・電気自動車や低燃費の航空機の開発がなされ、使用される部品の高性能化や軽量・小型化が求められている。使用部材も鋼材からアルミニウムやチタン合金そして炭素繊維系材料や樹脂材料など多様な材料が使用されるとともに、重要な部品や金型においても形状の複雑化や量産性向上のため、表面改質の高度化の要求が強い。 中でも鋼材の表面処理法としては、400℃～600℃の比較的低温で処理可能な窒化処理が用いられる。窒化処理とは鋼材の中へ窒素原子を浸透させて硬化させるもので、主な窒化法には金型などの処理物を窒素を含んだアンモニア気体中に暴露するガス窒化法やラジカル窒化法、シアン化合物溶液に浸す塩浴窒化法などがある。 しかし、従来の窒化法では、その原理上、表面の曇り、表面粗さの増加、摩擦係数の上昇そして金型における離型性の低下などの問題や、複雑形状を有する金型などにおいては隙間内面の窒化ができないという問題があった。 そこで我々は、それらの問題点を改善するものとしてアトム窒化法を開発した。大電流電子ビームで窒素分子を解離して高密度の窒素原子の気体を生成し、そこに処理物を暴露して窒化するもので、従来法ではできなかった様々なことが可能となる。 事業として、アトム窒化法を用いた窒化処理受託サービスと、窒化処理装置の開発・販売を行っていく。 参入しようとしている市場、販売ターゲットは、自動車、航空機、工作機械、産業用ロボット分野において使用される部材・部品、そして金型への窒化処理事業の分野である。									
新製品・サービスの新規性・独自性	従来より普及しているガス窒化・ラジカル窒化・塩浴窒化等の処理方式では 狭部の窒化処理は行えなかった。また、不要な化合物層の生成により処理後に仕上げ加工を行わないと処理前と同等の表面品質が確保できなかった。 アトム窒化法では根本的に処理方式が異なるため、狭部・極小部・薄部等にも必要量の窒化処理が可能である。また、仕上げ加工の必要もないので、工程の短縮・リードタイム短縮に大きな効果がある。 さらに、表面の品質改質だけでなく生産財の耐久性向上等の付随効果があるため、国内産業に製品コスト面での優位性を生みだし、製造業の国際競争力にも貢献できる。 最近、窒化処理後にTiC、TiN、DLCなどの高硬度膜を形成する「複合硬化処理」の需要が増大しているが、アトム窒化はこの前処理法としても適しているため、この分野の新規市場開拓も見込める。									
希望提携先	(マッチングを希望される提携先に○をつけてください。) ① 販売 2 生産 3 投資 4 融資 5 技術 6 製品開発 7 その他()									

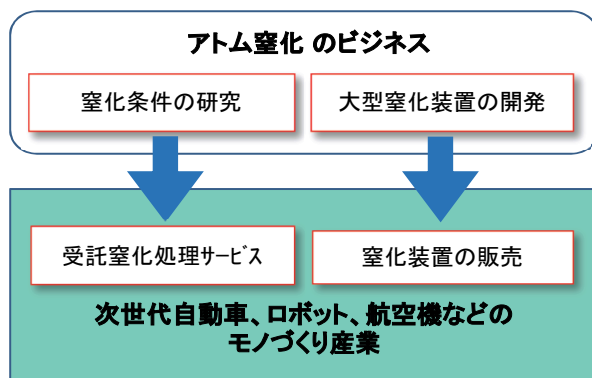
新しい窒化処理：アトム窒化とは

アトム窒化の原理



大電流電子ビームによって窒素分子を解離して高密度の窒素原子の気体を生成し、基材の金属面に吸着、内部へ拡散させる。不要な化合物層を作らず、また、隙間内やエッジも均等に窒化できる。

ビジネスモデル

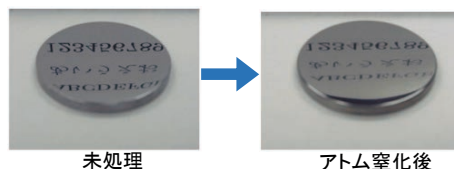


従来法とアトム窒化との比較

方法	塩浴窒化	ラジカル窒化	アトム窒化
隙間内の窒化	○	×	◎
表面光沢窒化	×	○	◎
不要な化合物層なし	×	△	◎
環境配慮	×	×	◎
処理時間	△	△	◎

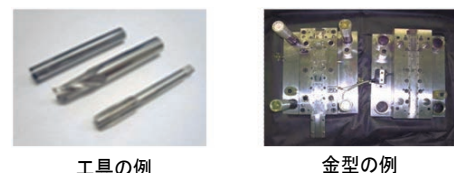
アトム窒化で可能となる窒化例

◎光沢窒化



※不要な化合物層ができないので光沢を保つ

◎隙間内や複雑形状体



※不要な化合物層を形成せず後工程の研磨除去が不要のため、複雑形状の工具や金型も窒化可能

販売計画	アトム窒化法は、化合物層を形成しない光輝窒化法であり、従来の窒化法における大きな問題点を克服した窒化方法である。この特長を生かし、自動車、航空機、工作機械、産業用ロボット分野における部材・部品そして金型への適用が期待できる。窒化処理事業は、最も精度や光輝窒化特性の求められる鋼材・部品から始め、窒化装置の販売は順次引合いのあるところから少数より始める。事業規模として、3年後に1億円の売上を目指す(窒化装置販売:30百万円、窒化処理:70百万円)
------	---

3 新事業の販売目標

	初年度	2年目	3年目
売上高 計	5,000,000円	30,000,000円	100,000,000円

1. 企業概要

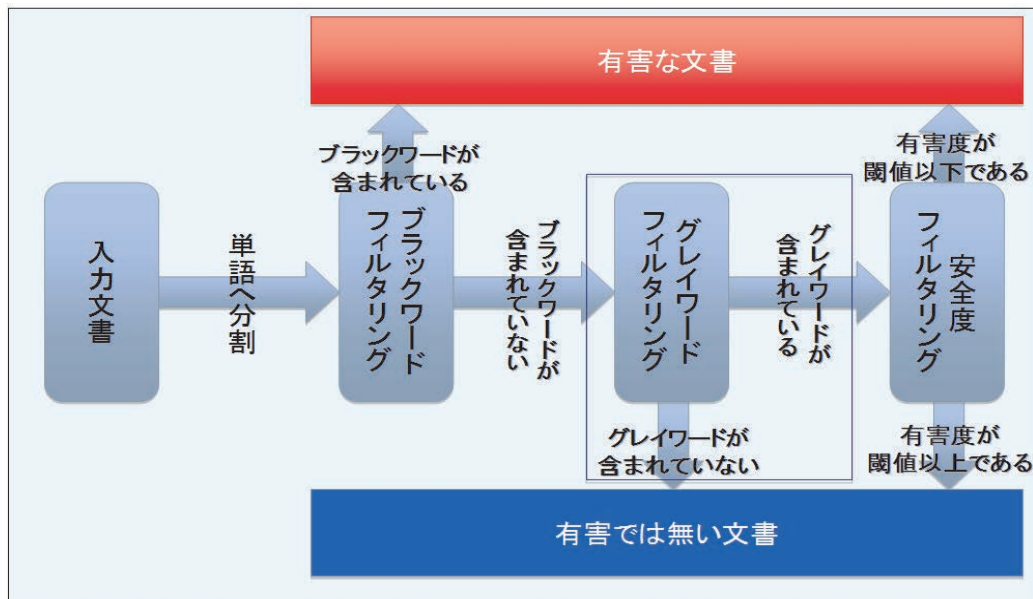
＜大学発ベンチャービジネスプラン＞

企業名等	企業名	ARCHES株式会社		設立	2004	年	8	月
	資本金	1,000	万円	常勤役員・従業員数	4	人		
関係大学		名古屋工業大学			関係教授名	伊藤孝行准教授		
大学との関わり		卒業生、共同研究						
代表者名	桑原 英人							
住 所	(〒 466－8555) 愛知県名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学インキュベーション施設オフィス4							
TEL	052-735-5844			メールアドレス	info@arches.co.jp			
FAX	052-735-5845			URL	http://www.arches.co.jp			
企業の沿革	2004年8月 ARCHES株式会社 設立、ITベンチャーとして受託型の開発を軸に事業を展開 大学の技術と民間のノウハウを組み合わせた産学連携によるビジネスの展開を実現するため、 2007年より、伊藤研究室と情報フィルタリング技術における共同研究を開始 2010年3月 文書評価付与方法、プログラム及び装置として特許出願							
事業者の プロフィール	2011年7月より、国立大学法人名古屋工業大学 グリーンコンピューティング研究所 プロジェクト准教授。当事業者の画発案により開発されたWEBエコポイントシステム(正式名称:エコモチ)は、環境分野のシステムとして、環境省「ストップ温暖化！愛・知恵の環コンテスト2009」特選受賞、経済産業省平成20年度経済産業省「地球温暖化防止運動」の先進的事例、優秀事例選出、経済産業省「環境を力にするビジネス:成長戦略」掲載、第14回資源循環ものづくりシンポジウム「資源循環型ものづくり研究会会長賞」受賞、など数々の賞を受賞し、業界内において高い評価を得ている。							

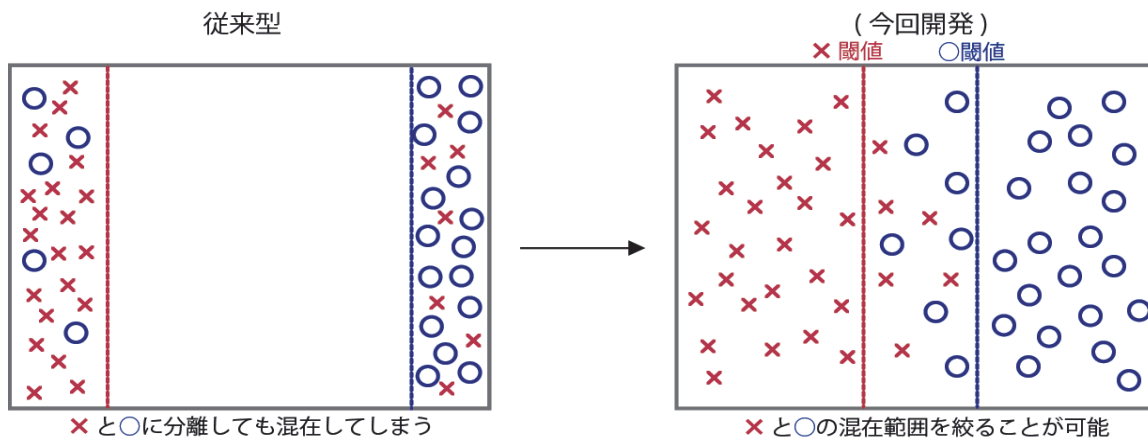
2 ビジネスプランの内容

プ ラ ン 名	インターネット上の有害情報フィルタリングサービス
事 業 概 要	インターネット上には、SNSや掲示板などの、誰でも自由に書き込みができるサイトが増えている。しかし、書き込みが自由であることから、子供や青少年にはふさわしくない有害な内容、犯罪につながる内容、企業の秘密情報などの書き込みが社会問題になっている。既存の掲示板やSNSでは、その運営会社が人手による目視で書き込みを一つ一つ確認しながら、有害な書き込みや秘密情報の書き込みなどを防いでいる。人手の監視では、人件費としてのコストは膨大であり、少しでも人件費を減らすことができることが要請されている。また同時に規模の大きくないSNSや掲示板では、一切確認をしていないケースも多く見られ、低コストで運用できる監視の仕組みの出現を期待されている。 本サービスでは、単語の共起に基づく情報フィルタリング技術を構築することで、高精度で高速なフィルタリングシステムを開発した。単語の共起をもとに、有害な文書や秘密情報を含んだ文書を統計的に学習することで、高精度で高速なフィルタリングを実現する。 また本手法は言語をかえても同様の性能が期待できるため、世界中での展開が期待できる。 インターネットの監視市場(SNSやミニブログ、ブログ、掲示板などのサービス運営企業、ユーザーからの投稿を受け付けることで情報を充実させているサービスを運営している企業など)、インターネット上で有害な文章が書き込まれる可能性があるサービスを運営する企業がターゲット。企業向けのカスタマイズサービスとウェブ上で低コストで利用できるクラウドサービスを柱として展開する。
新 製 品 ・ サービスの ・ 新 規 性 ・ 独 自 性	「特願2010-051087文書評価付与方法、プログラム及び装置」 本研究では、単語の共起に基づく情報フィルタリング技術を構築することで、高精度で高速なフィルタリングシステムを試作している。単語の共起をもとに、有害な文書や秘密情報を含んだ文書を統計的に学習することで、高精度で高速なフィルタリングを実現する。予備実験では、99%の精度でのフィルタリングに成功している。本結果は既存の他の技術と比較して極めて高精度である。
希 望 提 携 先	(マッチングを希望される提携先に○をつけてください。) ① 販売 2 生産 ③ 投資 ④ 融資 5 技術 6 製品開発 7 その他()

イメージ図



文章に対し、運用状況に合わせた各種フィルタを組み合わせせて有害情報を判定



販売計画	人による目視監視で成長を続けている市場に対して、自動・半自動で監視をできるツールとして展開し、市場獲得を狙う
	STEP1. 有人監視を導入している企業(SNS運営、ゲーム運営、携帯各社)への提案 → 有人監視の置換、または有人監視との併用 → 有人監視会社との提携も視野
STEP2. クラウド型サービスの展開	→ 中小規模で有害情報を未監視の状態のウェブサイト、サービス提供会社
	STEP3. 応用展開 → 自動学習及び判定精度の向上にあわせて、著作権情報や機密情報など各種情報のフィルタリングサービスを派生展開
初年度はSTEP1の企業1社へのテスト導入 2年目以降は、企業1社への本格導入、企業1社へのテスト導入 3年目以降は、企業2社の継続、企業1社への導入	

3 新事業の販売目標

(千円)

	初年度	2年目	3年目
売上高 計	5,000	15,000	30,000

◆ お 問 合 先 ◆

財団法人 名古屋産業振興公社
名古屋市新事業支援センター

〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号 名古屋市中小企業振興会館5階
TEL (052) 735-0808 FAX (052) 735-2065
e-mail shien@nipc.city.nagoya.jp URL <http://www.nipc.city.nagoya.jp/new-biz/>